

「大豆作り、味噌造り」のリーフレットを作りました！

2016年5月から木曾川源流の里・長野県木祖村の畑で、6年目の大豆作りが始まります。今回作ったリーフレットには、5月21、22日の種まきから11月12、13日の殻たたきまでの毎月の楽しい活動日程や「2016年は国際マメ年」、「国産大豆の現状と輸入大豆の話」そして、「味噌の歴史と現状」などが、写真と共に掲載されています。ぜひ、ご覧ください。

糀の花が咲きました…春の蔵びらき



昨年秋に収穫して、冬に選別した約55kg大豆を持って、4月16日（土）に木曾町の小池糀店に行ってきました。この日は「春の蔵びらき」と銘打ったイベントが七笑酒造、中善酒造、小池糀店

で行われており、多くの人びとが訪れていました。私たちは中善酒造の酒蔵を見学、新酒の試飲会を横目に見ながら小池糀店に向かいました。

「糀の花が咲きました」の看板が掲げられた小池糀店＝写真。甘酒や味噌など買い求める人びとが大勢いました。和歌山、岡山、豊橋…、各地からお出でになっており、小池糀店の唐沢さんに促されながら、木曾川上下流交流・連携や大豆づくり、味噌造りの話をしました。

木曾町は2014年9月に「発酵食品振興条例」を制定。目的として「伝統的食文化としての発酵食品を通して郷土への理解を深めるとともに、発酵の食文化が息づくまちづくりを進めるため…」と明記されています。発酵文化が一層広がっていくといいですね。（河崎）

～名古屋市科学館へ木製玩具を贈呈～

木曾青峰高校インテリア科6人が制作

2016年3月4日午前11時から名古屋市科学館2階にあるウディプレイランド（おもちゃのひろば）で、木曾青峰高校インテリア科の6人の女子高校生が制作した「シューティングボード」「自作迷路ゲーム」「木製パチンコ台」の3種類の木製玩具の贈呈式を行ないました。この贈呈式に出席したのは、科学館の額額館長、長谷川学芸課長、山田学芸員、高校からは6人の女子高校生と山下先生、木曾広域連合地域振興課長の上原さん、21インコーポレーション水源水事業部工場長の古野さん、みんな・みんなの会事務局の2人。

額額館長は「毎年どんな作品が出来上がってく

るのかを楽しみにしています。作品作りでの皆さんのアイデアや経験は、これから必ず力になることでしょう」と感謝のあいさつが述べられました。

山田学芸員は「今回で3回目ですが、毎回高校生の作品がとても面白く、新しい発見があります。いろんな遊び方のアイデアが出されて楽しい」と語り、山下先生は「制作にあたって、多少は苦勞しましたが、6人の生徒たちが思った以上のアイデアを出して来ることに驚いています」と話されました。

みんな・みんなの会としては、木曾川流域水源の里基金の運用として、2016年度も引き続き、木製玩

具の制作をインテリア科の高校生に依頼していこうと考えています。木曾川流域水源の里基金の運

用について、ご意見・ご提案をお寄せ下さい。(河崎)

「ワァおもしろい…」 木曾川流域図購入の小学生のお母さん

覚王山マルシェで大豆、黒豆、味噌「みなもと」販売

4月3日(日)、名古屋市千種区覚王山の日泰寺参道入り口近くのコンビニ駐車場で「覚王山マルシェ」が開催されました。主催は覚王山商店街振興組合です。駐車場の中では十数個のブースに有機野菜やこだわりの商品の生産者たちのテントが立ち並びました。

私たち「みんなの会」は『木曾川流域図』や大豆、黒豆、味噌「みなもと」を販売しました。開場の10時より早くから多くのお客さんたちが訪れ、賑わいがありました。「食」の安全に関心がある人や大量生産大量消費の中で作られた商品に疑問を持つ人たちが足を止め、私たちの大豆作り、

味噌造りの話に耳を傾けてくれました。

午後2時までの短い時間でしたが、「みなもと」や豆類、木曾川流域図も予想以上に売れました。小学生2人を伴って訪れたお母さんは「ワァ～面白い！地理に勉強にもなるわ」と流域図を熱心に見ながら、購入してくれました。

毎月ブースの数が限定されているので必ず出店をできるわけではないですが、覚王山マルシェには可能な限り参加していきたいと思っています。皆さんもお気軽に顔を出してください。

毎月第1日曜日、10時から14時まで開催で、5月は1日です。お出かけ下さい。(近藤)

<お知らせ>

- ☆5月3日(祝・火) 飛騨川上流域の七宗町、白川町に出かけ、新緑の森の中で祭りを見たり、交流を行ってきます。
- ☆6月5日(日) なごや水フェスタに参加します。名古屋市千種区の鍋屋上野浄水場で開催。
- ☆7月3日(日) 覚王山マルシェに出店します。

みんなの会第7回総会&パネルディスカッション

日時：9月3日(土) 午後1時半開始 会場：今池ガスビル会議室(予定)

内容：「大豆作り、味噌造りから見えてきた

木曾川上下流交流・連携と今後の展望」をテーマに話し合い

<新年度会費をお願いします>

みんなの会では、2016年6月から2017年5月末日が、2016年度の期間です。会員の皆さんの会費やカンパなどによって、みんなの会の活動は支えられています。2008年9月に第1回の「水源の里を守ろう 木曾川流域集会」の開催に始まり、木曾川流域水源の里基金の設立や「木曾川流域図」作り、そして、大豆作り・味噌造りなどに取り組んできました。

「上流は下流を思い、下流は上流に感謝する」木曾川上下流交流・連携を一層進めていきます。皆さんのご支援、ご協力をお願いします。

水源の里を守ろう 木曾川流域みんなの会

連絡先：〒464-0075 名古屋市千種区内山3-7-11 斎藤事務所気付
TEL 052-745-1001 FAX 052-741-2588 mail: suigenosato@gmail.com